

技能・技術実践研修カリキュラム

コース番号	コース名	期 間	定員	日数
F2-2	技能五輪国際大会参加者のための実践英会話 ～応用編～	令和 年 月 日()～ 月 日()	10	2
開催会場	職業能力開発総合大学校（東京都小平市）	技能・技術分野	共通	
		技能・技術レベル	—	
		技能・技術要素	—	
研修のねらい及び到達目標	本研修は、技能五輪国際大会に出場予定または出場経験のある選手・関係者を対象に、競技中の技術的説明やトラブル対応、国際交流の場での意見交換など、実践的かつ高度な英語表現を習得し、即戦力として通用するコミュニケーション能力を身につけることを目的とする。			
最低限必要な知識	F1「技能五輪国際大会参加者のための実践英会話 ～基礎編～」を受講済みであること。			
研 修 内 容	項 目（予 定）		講義	実技・演習
	1. イントロダクション：国際大会における英語の役割と自己チェック（ミニレクチャー＋診断シート） 過去大会事例紹介、自分の英語スキルの棚卸し口		0.5 H	1 H
	2. 技術説明と作業指示の英語（シナリオ練習・ペアワーク） 使用工具・作業手順の説明、指示出しの表現口		0.5 H	1 H
	3. トラブル報告・状況説明スキル（ロールプレイ＋応用例共有） 問題発生時の報告・相談、冷静な伝達力の強化口		0.5 H	1.5 H
	4. 審査員とのやり取りの英語（ディスカッション演習） 質問の理解・意図の把握、適切な返答技術口		0.5 H	1.5 H
	5. 多国籍選手との交流表現（応用）（グループワーク＋ディベート） 意見交換、文化紹介、建設的な対話口		0.5 H	1 H
	6. 総合実践：模擬競技シナリオ（英語シナリオ・実技ロールプレイ） 技術・交流・トラブル対応を統合した演習口		0.5 H	1.5 H
	7. 振り返りと個別フィードバック 個別の課題整理、継続学習のポイント提示		0.5 H	1 H
			3.5 H	8.5 H
リニューアルの概要及びアピールポイント	具体的に必要となる内容に特化しています。			
研修成果が活用できる職務	職務 1	職務 2	職務の内容	
担当教員（ユニット）	半田 純子 （技能分析ユニット）	菊池 拓男 （情報通信ユニット）	内田夕津 鈴木辰一 （国際・地域支援ユニット）	外部講師
使用する機器等				
受講者が用意するテキスト（予定）				